資料 1-1

愛知県アレルギー疾患医療拠点病院実績報告書

病院名：　名古屋大学医学部附属病院

愛知県アレルギー疾患医療拠点病院設置要綱に基づき、下記のとおり報告します。（令和８年５月１日現在）

１．病院の機能及び医師等の配置

項　　目	該当
一般社団法人日本アレルギー学会の認定教育施設であること	○
内科、小児科、皮膚科、眼科、耳鼻いんこう科領域の診療科が全て設置され、その医師が常勤していること、または、愛知県における小児アレルギー疾患医療の中心的な役割を担っていること	○
アレルギー疾患に関する専門的な知識と技能を有する薬剤師、看護師、管理栄養士等が配置されていること	○
〔配置状況〕吸入薬指導に習熟した複数の薬剤師（アレルギー関係学会、講習会等に参加している）	

医師の配置	アレルギー学会会員数	うち専門医数数	うち指導医数
内科	19	7	2
小児科	0	0	0
皮膚科	3	0	0
眼科	0	0	0
耳鼻いんこう科	1	0	0

２．アレルギー疾患に関する「情報提供」「人材育成」「学校、児童福祉施設等におけるアレルギー疾患対応への助言、指導」の取組

		実　　績（令和７年度）			今　後　の　予　定（令和８年度）		
		診療科	対象者	内容	診療科	対象者	内容
情報提供	講演会等	呼吸器内科	一般市民	愛知県アレルギー疾患医療連絡協議会実施事業　愛知県アレルギー講演会 in 三河　テーマ：広がる選択肢！　こどもから大人までアレルギー最前治療 2025 年 6 月 21 日（土曜日)･14:00～16:00 イオンモール豊川	呼吸器内科	一般市民	ぜん息患者を中心にアレルギーの啓発活動として継続し開催する。
		呼吸器内科	一般市民	愛知県アレルギー疾患医療連絡協議会実施事業　愛知県アレルギー講演会　テーマ：アレルギー疾患の治療最前線 2025 2025 年 11 月 1 日（土曜日)･14:00～16:00 YouTube Live 配信およびアーカイブ配信	呼吸器内科	一般市民	ぜん息患者を中心にアレルギーの啓発活動として継続し開催する。
		呼吸器内科	一般市民	愛知県「気管支ぜん息とぜん息治療薬との付き合い方ー最も大切なのは吸入ステロイドをうまく使うことー」 2025 年 10 月 8 日（水曜日）14:00～15:30 東海市芸術劇場２階 会議室	呼吸器内科	一般市民	ぜん息患者を中心にアレルギーの啓発活動として継続し開催する。
		呼吸器内科	一般市民	【名古屋市公害保健課】令和 7 年度成人ぜん息教室　『ぜん息を手なずけるための知識と治療の ABC』 2025 年 9 月 1 日（月曜日）14:00～16:00 熱田保健センター	呼吸器内科	一般市民	ぜん息患者を中心にアレルギーの啓発活動として継続し開催する。
		呼吸器内科	一般市民	第 32 回アレルギー週間市民公開講座 これだけは知っておきたいアレルギーの新常識 2026 年 2 月 21 日（土曜日）14:00～16:00 今池ガスビル 7 階　ダイアモンドルーム	呼吸器内科	一般市民	ぜん息患者を中心にアレルギーの啓発活動として継続し開催する。

		耳鼻咽喉科	医師	令和 7 年度名大主催のアレルギー勉強会を開催した。			
		耳鼻咽喉科	医師	第 81 回愛知県耳鼻咽喉科手術手技懇話会を開催した。			
		耳鼻咽喉科	医師	NAGOYA　ENT セミナー2025 を開催した。			
	他						
人材育成	研修会等	皮膚科	医師	第 124 回日本皮膚科学会総会にて「稀少疾患から探る皮膚バリアと炎症のしくみ」という演題名の教育講演を行った。			
		皮膚科	医師	北陸皮膚アレルギー研究会 2025 にて「遺伝性皮膚疾患の基礎と蕁麻疹治療」という演題名の講演を行った。			
		皮膚科	医師	第 89 回日本皮膚科学会東京支部学術大会にて「基礎から学ぶ、あたらしい魚鱗癬」という演題名の教育講演を行った。			
		アレルギー疾患治療チーム	病院教職員	アレルギー研修会（オンライン研修）： ①　「喘息診療の基本と最新の話題」呼吸器内科　石井先生 ②　「免疫チェックポイント阻害薬による内分泌障害」 糖尿病・内分泌内科　岩間先生	アレルギー疾患治療チーム	病院教職員	アレルギー研修会（オンライン研修）
		耳鼻咽喉科	医師	第 14 回獨協医大鼻副鼻腔・頭蓋底内視鏡手術研修会に参加した。			
		耳鼻咽喉科	医師	第 64 回日本鼻科学会総会・学術講演会に出席し発表、意見交換を行った。			
		耳鼻咽喉科	医師	FESS seminar in Hokkaido 2026 に参加した。			
		耳鼻咽喉科	医師	第 8 回名古屋市立大学内視鏡下鼻内副鼻腔手術外科教育トレーニングコースに参加した。			
		耳鼻咽喉科	医師	第 5 回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー感染症学会総会・学術講演会に出席し、発表、意見交換を行った。			
	他						

３．アレルギー疾患における「診療」「研究」の取組

	実　　績（令和７年度）	今　後　の　予　定（令和８年度）
診療	＜呼吸器内科＞ ・気管支喘息、ABPA、薬剤性肺炎、慢性好酸球性肺炎、EGPA 等　患者診療（約 400 人） ・重症気管支喘息患者診療（生物学的製剤使用）	＜呼吸器内科＞ 継続
	＜皮膚科＞ ・アトピー性皮膚炎診療（約 300 人）	
	＜耳鼻咽喉科＞ アレルギー性鼻炎、慢性副鼻腔炎の生物学的製剤を含む保存的治療とともに、難治例には内視鏡下鼻副鼻腔手術を施行した。	＜耳鼻咽喉科＞ 継続
研究	＜呼吸器内科＞ 原著論文 1. Mizuno K, Ito T, Sawada T, Kobayashi T, Iwama S, Mori S, Hase T, Fukami Y, Furusawa K, Yura Y, Morimoto R, Sajiki AF, Ushida H, Kato N, Maruyama S, Murohara T, Katsuno M, Ishii M, Akiyama M, Arima H, Kawashima H, Ando Y. Safety and efficacy of retreatment with immune checkpoint inhibitors after severe immune-related adverse events. Oncologist. 2025 Jun 4;30(6):oyaf120. doi: 10.1093/oncolo/oyaf120. 2. Yokoi E, Wakahara K, Nakamura S, Fukutani E, Asai S, Takahashi N, Kojima T, Iwano S, Shimada S, Chen-Yoshikawa TF, Hashimoto N, Ishii M. Increased sputum peripheral helper T cells are associated with the severity of rheumatoid arthritis but not with the severity of airway disease. Front Immunol. 2025 Feb 27;16:1526881. doi: 10.3389/fimmu.2025.1526881. 3. Iwama S, Kobayashi T, Izuchi T, Suzuki K, Murase T, Ando M, Handa T, Onoue T, Miyata T, Sugiyama M, Hagiwara D, Suga H, Banno R, Hase T, Mori S, Sano T, Akamatsu S, Akiyama M, Ishii M, Arima H. Combined PD-1 and CTLA-4 Blockade Increases the Risks of Multiple Pituitary Hormone Deficiency and Isolated Adrenocorticotropic Deficiency: A Prospective Study. Endocrinol Metab (Seoul). 2025 Jun;40(3):459-468. doi: 10.3803/EnM.2024.2180. 4. Hayashi H, Ishii M, Hasegawa Y, Taniguchi M. Critical pathomechanisms of NSAID-exacerbated respiratory disease (N-ERD) clarified by treatment with omalizumab, an anti-IgE antibody. Allergol Int. 2025 Jan;74(1):51-65. doi: 10.1016/j.alit.2024.08.008. 5. 佐藤浩司, 松島充代子, 長谷川義大, アル・ファリシィ ムハンマド・サルマン, 式田光宏, 池田勝秀, 加藤千秋, 川部勤. 小型熱式流量センサを用いた末梢気道病変の検出を可能にする局所肺機能検査法開発のための基礎的検討. 医学検査 74 (3): 480-487, 2025 doi: 10.14932/jamt.25-5 6. Sueyoshi A, Al Farisi MS, Hasegawa Y, Matsushima M, Kawabe T, Shikida M. Slip-Joint Adaptor	＜呼吸器内科＞ アレルギー、またその基礎となる免疫学関連の研究を英文雑誌や国内外の学会で報告する。

Enabling Respiratory Monitoring in Tracheal Intubation Tube. IEEE Sensors Journal 25 (16): 30507-30513, 2025
doi: 10.1109/JSEN.2025.3586776

7. Al Farisi MS, Tsuji K, Hasegawa Y, Matsushima M, Kawabe T, Shikida M. Pneumatic Tactile Sensor Probe With Variable Sensitivity for Palpation During Catheterization. IEEE Sensors Letters 9 (8): 2503004, 2025
doi: 10.1109/LSENS.2025.3585201
8. Miyawaki A, Al Farisi MS, Hasegawa Y, Matsushima M, Kawabe T, Shikida M. Catheter Probe System with Remotely Located Sensor for Simultaneous Airflow and Pressure Measurement of Exhalation Inside Lung Airway. IEEE Sensors Journal 25 (6): 9495-9502, 2025
doi: 10.1109/JSEN.2025.3538080

学会発表（国内学会）

1. 大槻 遼, 若原 恵子, 関谷 潔史, 橋本 直純, 磯谷 澄都, 伊藤 理, 石井 誠.
喘息合併難治性慢性好酸球性肺炎に対する抗 IL-5 抗体／抗 IL-5Rα 抗体の効果.
第 74 回日本アレルギー学会学術大会, 東京, 2025 年 10 月 24 日–26 日.
2. 川島未遥、松島充代子、小栗美紀、髙野日和、金澤咲良、熊谷杏音、野村菜月、佐藤光夫、川部　勤. IgE 非依存的アレルギー性結膜炎における CD40 欠損マウスを用いた検討. 第 7 回日本アレルギー学会東海地方会, 愛知, 2026 年 3 月 8 日
3. Hiyori Takano, Miyoko Matsushima, Shino Ando, Yuzuki Matsuda, Miki Oguri, Miharu Kawashima, Tsutomu Kawabe. Basic analysis of symptom-relevant IgE epitopes in milk protein. 第 54 回日本免疫学会,　兵庫, 2025 年 12 月 10 日-12 日
4. Miharu Kawashima, Miyoko Matsushima, Shino Ando, Yuzuki Matsuda, Miki Oguri, Hiyori Takano, Tsutomu Kawabe. Investigation of IgE-independent mechanisms in the development of allergic conjunctivitis. 第 54 回日本免疫学会,　兵庫, 2025 年 12 月 10 日-12 日
5. Miki Oguri, Miyoko Matsushima, Shino Ando, Yuzuki Matsuda, Miharu Kawashima, Hiyori Takano, Tsutomu Kawabe. Involvement of quercetin on type 3 inflammatory responses via CXCL2 upregulation. 第 54 回日本免疫学会,　兵庫, 2025 年 12 月 10 日-12 日
6. 平山 蒼, M. S. Al Farisi, 長谷川義大, 松島充代子, 川部 勤, 式田光宏. 肺細気管支内での呼吸量計測に向けたステアリングマイクロカテーテルと MEMS 流量センサの一体化. 第 42 回「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウム, 栃木, 2025 年 11 月 10 日-13 日
7. 吉田 潤, M. S. Al Farisi, 長谷川義大, 松島充代子, 川部 勤, 式田光宏. バルーンカテーテルを利用した肺内部での経気管支的高精度呼吸計測技術の開発. 第 42 回「センサ・マイクロ

	マシンと応用システム」シンポジウム, 栃木, 2025 年 11 月 10 日-13 日 8. 松田柚希、松島充代子、小林　純、吉田七海、河島妃和、髙木清楓、林　風月、安藤梓乃、佐藤光夫、川部　勤. ケルセチンは 2 型炎症性ケモカインを抑え、3 型炎症性ケモカイン CXCL2 の発現を選択的に誘導する. 第 55 回日本環境アレルギー学会総会・学術大会, 大阪, 2025 年 5 月 31 日-6 月 1 日 学会発表（国際学会） 1. M. S. Al Farisi, Y. Hasegawa, M. Matsushima, T. Kawabe, M. Shikida. Nano/Microsystems for Medical Assessment Inside Lung Airway. The 2nd International Seminar on Nanotechnology, Nanomaterials and Devices (ISNND). Indonesia, 2025 年 8 月 25 日-26 日 2. J. Yoshida, M. S. Al Farisi, Y. Hasegawa, M. Matsushima, T. Kawabe, M. Shikida. Balloon catheter with integrated airflow sensor for respiration measurement inside lung airway. Transducers 2025 (The 23rd International Conference on Solid-State Sensors, Actuators and Microsystems, USA, 2025 年 6 月 29 日-7 月 3 日 3. A. Hirayama, M. S. Al Farisi, Y. Hasegawa, M. Matsushima, T. Kawabe, M. Shikida. Hollow microcatheter actuator and MEMS thermal flow sensor hybridization toward respiration measurement inside 1 mm diameter bronchioles in lung airway. Transducers 2025 (The 23rd International Conference on Solid-State Sensors, Actuators and Microsystems, USA, 2025 年 6 月 29 日-7 月 3 日 ＜皮膚科＞ 原著論文 1. Dupilumab treatment decreases expression of microRNAs related to B cell activation in peripheral blood mononuclear cells of atopic dermatitis patients. Matsui K, Ogawa-Momohara M, Yokoi A, Takeichi T, Yoshida K, Kitagawa M, Taki T, Murase C, Muro Y, Akiyama M. J Dermatol Sci. 2025 May;118(2):76-78. doi: 10.1016/j.jdermsci.2025.02.004. 2. The origin of hydroxy-cyclohexenone fatty acids from skin barrier protein and relevance to covalent binding of ceramides. Noguchi S, Boeglin WE, Nakashima F, Stec DF, Calcutt MW, Takeichi T, Akiyama M, Brash AR. J Lipid Res. 2025 Jul;66(7):100843. doi: 10.1016/j.jlr.2025.100843. 国内学会 1. Mariko Ogawa-Momohara, Kenichiro Matsui, Akira Yokoi, Takuya Takeichi, Kosuke Yoshida, Masami Kitagawa, Tomoki Taki, Chiaki Murase, Yoshinao Muro, Masashi Akiyama. Dupilumab reduces B cell related microRNAs in PBMCs of atopic dermatitis patients. 日本研究皮膚科学会第 50 回年次学術大会・総会, (2025.12.5-7) 甲府記念日ホテル（甲府市） ポスター 2. Aoi Ebata, Mariko Ogawa-Momohara, Takuya Takeichi, Masashi Akiyama. Dupilumab Remodels the	

	B-Cell Repertoire in Atopic Dermatitis by Suppressing Pathogenic Signatures and Promoting IgG4 Clonal Expansion. 日本研究皮膚科学会 第 50 回年次学術大会・総会, (2025.12.5-7) 甲府記念日ホテル（甲府市） 口頭	

４．アレルギー疾患に関する特記事項（独自の取り組み）

＜呼吸器内科＞

石井 誠教授は、令和 6 年度より AMED「免疫アレルギー疾患実用化研究事業」課題評価委員を務めている。